

# みりょう 人々を魅了する緑色

## ～緑色凝灰岩・碧玉・ヒスイ～

世界でも有数の火山大国である日本は、火山灰が海中で堆積して形成された「緑色凝灰岩」、火山の熱や圧力を受けた際の元素や結晶化の違いで異なる発色となった「石英（ガラス質の石）」、地球深部での高圧力と低熱によって形成された「ヒスイ」などといった玉作りに適した石材を手に入れることができました。

- ・緑色凝灰岩は緑色～淡緑色をした岩石で、本州の日本海側に沿って分布し、良質の材料が採取できます。
- ・石英は日本全国に広く分布し、透明なものは「水晶」、緑色のものは「碧玉」、赤白の縞模様は「メノウ」、非透明な赤色のものを「鉄石英」と、色で呼び分けます。
- ・ヒスイはヒスイ輝石を主成分とする透明な淡緑色・白色の岩石です。日本国内ではいくつかの産地がありますが、その多くは現在の新潟県上越地方を流れる姫川と支流の小滝川、青海川か、姫川が日本海に注ぎこむ下流河口部の海岸に打ち上げられた場所に集中しています。